

V 男女共同参画に関するアンケート調査の結果

愛媛大学男女共同参画推進に関するアンケート結果の概要

愛媛大学では平成 19 年 5 月に「国立大学法人愛媛大学男女共同参画推進委員会」が設置されました。その中で専門的事項を調査・審議するための「男女共同参画推進専門委員会」が、本学における男女共同参画に関する意識調査と状況把握のためアンケート調査を実施しました。短い期間での実施となりましたが、多くの教職員の皆様にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

男女共同参画に関して初めて実施した今回のアンケートは、愛媛大学に勤務する教職員（非常勤講師、TA、RA、業務支援室のアルバイト学生等を除く）を対象に平成 19 年 7 月 18 日～8 月 8 日の間で行いました。教員（大学教員及び附属学校教員）及び医学部附属病院の看護職員には調査用紙を配布し回収する方法で、また、それ以外の事務職員、技術系職員等にはスマートアンケートにより回答をいただきました。アンケートの結果の概要は後掲のとおりですが、要点を簡単に述べておきます。

回答率は全体で37.5%でした。附属学校教員が53%、看護職員が80%、大学教員が38%の回答率でしたが、スマートアンケートによる回答となった事務職員は27%、技術系職員が16%、その他の職員は8%と低くなっています。また、常勤は45%、非常勤は12%となっています。

本学における男女共同参画の観点から見た改善すべき項目については、男女ともに「会議の時間が勤務時間外に及ぶことがある」が最も多く、職種別に見ても全ての職種で多い回答でした。今後望まれる具体例など自由記述欄では、育児支援を中心に仕事と家庭生活の両立支援及び教育、研究、就業の環境、制度の整備を求めること多くの回答が集中しました。また、大学における意識の向上・改革が必要という意見も寄せられました。また、「城北地区に保育所が開設されたとしたらすぐに利用したい」が35人、「近い将来利用したい」が95人ありました。「愛媛大学での男女共同参画の推進の必要性について」は賛成に54.8%の回答が寄せられ、「推進のための努力をおしまない」との回答が43.6%ありました。

今回寄せられたご意見・ご提案は、「愛媛大学における男女共同参画推進のための提言」及び「積極的改善措置(ポジティブアクション)」の作成、そして、さらなる具体的な取り組みを検討していく中で活かしていきたいと考えています。

今後とも、本学の男女共同参画の推進を図るため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 19 年 10 月 10 日

愛媛大学男女共同参画推進専門委員会